

パブリックコメントで寄せられたご意見の要旨と市の考え方について

意見の要旨等	市の考え方
<p>【総論】 総社市総合計画での色々な意見を公開してはどうか？</p>	<p>総合計画策定にあたり、本当にたくさんの皆様からご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見の概要等につきまして、巻末に資料として加え公開していきたいと考えています。</p>
<p>【基本構想・目指す都市像】 人口減少問題について あえて「岡山県内市では岡山市、倉敷市、総社市だけが人口増加」と表記しなくても「総社市の現状、将来人口が増加」でよいのではないかと。</p>	<p>全国的に人口減少が叫ばれる中、岡山県内においては岡山市、倉敷市、総社市の3市だけが人口増加となっています。第2次総合計画では、岡山市や倉敷市等との連携を重視しており、また、具体的にイメージをしやすくするため、統計の分析においてこのような表記をさせていただきます。</p>
<p>【人口ビジョン】 人口は転入で増加しているとはあるが、今度、総社市外への転出することを防ぐため、どのような政策をとろうとしていますか？具体的に教えて頂きたい。</p>	<p>社会動態における人口増減を左右するのは「若者」であることから、総社市内で生まれ育った若者が学べる環境を整えるとともに、学んで身につけた能力を発揮できる働く場が創出できるよう企業誘致を行ったり、学生のインターンシップや就職相談等による雇用のマッチングなどの支援を実施することとしています。</p>
<p>【人口ビジョン】 合計特殊出生率の推移にて、子どもを持つことのコストの上昇、女性にとって、出産、育児と就業継続が困難なこととあるが、市としてどのような事を今後していくのか？</p>	<p>結婚したいという若年層に向けた婚活イベントやセミナー、ライフプランを設計する機会の提供など、結婚・出産・子育てができる環境整備に努め出生率の向上を図るとともに、若い世代の女性が働き、結婚し、子育てができるよう雇用機会の確保や働きやすい職場づくり、ワークライフバランスの推進、さらには安心して子育てができる環境を整備していきます。</p>
<p>【基本構想・評価・検証】 検証・評価体制について 第2次総合計画から新たに市民アンケートを採用し、満足度を検証していくことにしているため、今後、検証・評価の手法が拡大、改良されることに期待します。</p>	<p>第2次総合計画は、多くの皆様のご意見やご提言のもと取りまとめをさせていただきました。今後とも、多くの市民の意見を反映し、事業の評価・検証を行い、適切な改善と事業実施に取り組んでいきます。市民アンケートがお手元に届いた際にはご協力くださいますようお願いいたします。</p>
<p>【基本計画・だれもが住みたくなる総社】 中学校3年生までの医療費無料化をぜひとも実現してほしい。</p>	<p>子育て期を支援するため、市民みんなで小児医療費の適正化を推進するとともに、中学校3年生までの医療費無料化の検討を行っていきます。</p>
<p>【基本計画・だれもが住みたくなる総社】 高齢者にやさしいまちづくりを早急に検討していただき、いつまでも総社に安心して暮らせる政策を考えていただきたい。</p>	<p>総合計画では、全国屈指の福祉文化先駆都市を目指すこととしており、基本計画において、高齢者にやさしいまちづくりを目指し、独居高齢者の孤立防止や高齢者のケア・見守りの強化、切れ目のない介護と医療体制づくり、健康寿命の延伸を重点施策として取り組むこととしています。</p>
<p>【基本計画・だれもが住みたくなる総社】 雪舟くんの市外交通網の整備はできないのか？</p>	<p>雪舟くんの利便性強化は重点施策として位置づけており、運行台数・エリアの検討等により利便性の向上を図るとともに、他の公共交通にあわせた運行等を図ることとしています。</p>
<p>【基本計画・だれもが住みたくなる総社】 結婚の応援対策が生温い。結婚をしない人の将来像が！！</p>	<p>結婚の希望をかなえるため、婚活事業や相談事業を行うとともに、成婚率を高めるためにセミナーの開催やカップル成立後のサポートも実施します。また、住みやすい環境整備や子育て支援の拡充も図ることとしています。 市民の生活基盤の確保のため、雇用創出や就業の支援、女性の働く希望の実現などにも取り組んでいきます。さらにワークライフバランスも推進していきます。 また、既婚、未婚を問わず、将来の高齢社会の到来に備え、独居高齢者対策等についても取り組んでいくこととしています。</p>
<p>【基本計画・だれもが住みたくなる総社】 少子化、高齢化の対策に光りが射し込まない。</p>	<p>全国屈指の福祉先駆都市を目指し、子育てや高齢者、障がい者など、様々な支援を必要とする人への施策を行い、少子化や高齢化への対応は重点施策として捉え、各種対策を図ることとしています。</p>
<p>【基本計画・だれもが住みたくなる総社】 医療は、岡山市と倉敷市に抱っこにおんぶ。</p>	<p>切れ目のない介護と医療体制をつくるため、医師会や圏域の医療機関との連携を図るとともに、回復期への対応や民間の第2次救急病院の整備と救急搬送体制を充実強化することとしています。</p>

<p>【基本計画・だれもが住みたくなる総社】 高年齢者対策 独居高年齢者の生きがい及び高年齢者の生活支援。 寿命を延ばす支援。グランドゴルフ、ゲートボールなどの参加及び場の提供。 雪舟くんの進化、家庭にいても商品を購入出来るシステムの構築。</p>	<p>独居高年齢者の孤立防止や高年齢者の生活支援を行うとともに、元気で生きがいを持って健康寿命を延ばすことができよう支援していくこととしていきます。また、グランドゴルフやゲートボールなど、より多くの人が参加できる生涯スポーツを推進することとしており、各種体育施設の活用や整備も図ることとしています。 雪舟くんについては、利用者や運行事業者の利便性等を高める検討を行い、よりよいものとなるよう取り組んでいきます。</p>
<p>【基本計画・だれもが住みたくなる総社】 子育て 待機児童を3年以内にゼロに ・放課後児童クラブ、事業所内保育事業、小規模保育事業等、市が直接実施せず、民間事業者に支援して事業拡大を図ろうとする事業と市が独自に実施する事業は区分して記載すべき。 ・NPO法人(例:あいあい)等の活動支援等の記入がないが必要ではないか。</p>	<p>「待機児童を3年以内に“ゼロ”に」については、待機児童を解消するためには、様々なニーズに対応し、複合的に取り組む必要があることから、“ゼロ”にするという目的のもと、関連する事業を列記していますのでご理解ください。 NPO法人等との連携は重要であると考えており、NPO法人に運営していただいておりますファミリーサポートセンター事業の充実等にも取り組んでいきます。</p>
<p>【基本計画・だれもが働きたくなる総社】 今後の企業誘致について総社市としての考えを伺いたい。</p>	<p>企業誘致については、本社機能移転の促進や企業誘致のさらなる推進を行い、より効果的な企業誘致の仕組みづくりを行うこととしています。また、立地企業に対する雇用確保の協力により、求人と求職のバランスの取れたまちづくりを推進していきます。</p>
<p>【基本計画・だれもが働きたくなる総社】 商工業・物流(P23) ・総社商工会議所、吉備路商工会へそれぞれ補助金を交付し、商工業の発展を目指しているが、これらの補助金が有効に活用されているとは思えない。 ・総社市にはP23に記載されているよう自動車関連企業等が集積していること、また、市のご努力により新たな企業がどんどん立地しているが、総社市として今後の産業政策目標を明確にし、会議所、商工会等と連携した施策を実施する必要がある。</p>	<p>・商工業の発展のための補助金について、より有効に活用されるよう各種団体と協議・連携を図っていきます。 ・総社市には自動車関連企業等が集積しており、市の基幹産業となっていることから、今後も連携・支援を実施することとしています。また、市内企業・事業所、会議所、商工会等との連携を図り、ビッグデータの活用などによる生産性の向上の支援等を行い、産業政策を展開していきたいと考えています。</p>
<p>【基本計画・だれもが学びたくなる総社】 子ども対策 教育・・・児童数が減少し、学校が消えていく中で、それに向けての対策がない。 教育方針の中に「遊び」が重要視されてない。 「遊び」は、大人の「社会」の縮図で多くが学べる場である。 「総社を愛する子ども」とは、どういう意味なのか？ 医療・・・小児科救急病院の設置を特に望む。</p>	<p>児童数の減少は学校はもとより地域にとっても大きな課題です。1学年が10人未満の小学校区への対策として、英語特区をはじめ特区新設による地域教育を実践するなどし、児童数の減少への対応を図ることとしています。 教育方針となる「教育大綱」は、心の教育を重視し、総社市の教育において指針となるものです。「総社を愛する子ども」とは、郷土愛を指すものであり、郷土を知り、郷土に愛と誇りをもつことを意味します。このような教育を行う中で、地域の中にあるお祭りへの参加や子ども同士の遊ぶ場づくりを促していきたいと考えています。 医療の充実については、医療体制づくりを掲げており、関係機関等と協議を行っています。</p>
<p>【基本計画・だれもが訪れたくなる総社】 高梁川以西の活性化及び小学校の児童数の減少を市としてどの様な政策をもって計画していくのか？</p>	<p>西部地区の活性化については、主体的な土地利用の促進を行い、居住・産業区域の対策を行うこととしています。小学校の児童の減少については、小学校区ごとの人口動態推移を検証し、地域の特色やニーズにあった特区の新設や、移住・定住の推進等の政策を計画していきます。</p>
<p>【基本計画・だれもが訪れたくなる総社】 高梁川西側の定住の出来る土地の確保をしていただき、定住する人々を増やしていただきたい。</p>	<p>西部地区の活性化については、主体的な土地利用の促進を行い、居住・産業区域の対策を行うこととしています。小学校の児童の減少については、小学校区ごとの人口動態推移を検証し、地域の特色やニーズにあった特区の新設や、移住・定住の推進等の政策を計画していきます。</p>
<p>【基本計画・だれもが訪れたくなる総社】 倉敷と総社との交通手段では自動車と鉄道があるが、鉄道での倉敷、岡山へ移動する場合、時間に制約があり不便を感じる。</p>	<p>総社へのアクセスの利便性向上について取り組んでいくとともに、総社駅への特急列車の停車数増についても関係機関等へ要望していくこととしています。</p>
<p>【基本計画・だれもが訪れたくなる総社】 若者の生活拠点が見当たらない。</p>	<p>岡山県立大学周辺の地域拠点としての整備や市街化区域内の再生、企業誘致などにより、若者が集い、学び、働くことができるようまちづくりを図っていきます。</p>

<p>【基本計画・だれもが訪れたいくなる総社, だれもが集いitくなる総社】 西地域</p> <p>新架橋が完成しても思うほど変化は望めない。 小学校の児童数が減少し、統合でマイナス指向になり、先が見えない！！ いくら素晴らしいことばを羅列しても、ビジョンに変化がない。 あおい団地も高齢化が進み、小さなお店もなくなり、住民意識も希薄。 何と言っても、子どもの声があまり聞こえないのが寂しい。 小さな祭りとか、子どもたちが楽しんで遊ぶ姿が見たい。</p>	<p>西部地区の活性化については、新総社大橋の活用による東西の均衡ある発展を図るとともに居住・産業区域の対策を行うこととしています。 小学校の児童の減少については、小学校区ごとの人口動態推移を検証し、地域の特色やニーズにあった特区の新設や、移住・定住の推進等の政策を計画していきます。 住民同士の交流や地域の子どもたちが参加できる祭りやイベントなど、様々な地域のニーズに応えるため「総社市自由枠交付金制度」を整備し、地域と行政が支え合う地域づくりを行いたいと考えております。</p>
<p>【基本計画・だれもが訪れたいくなる総社】 観光客増加(P26) ・「岡山, 倉敷, 高梁市との連携協定等…」と記入されているが, 高梁川流域中枢都市圏連携, 岡山連携中枢都市圏連携の中である程度の具体策を記入されるべき。</p>	<p>高梁川流域中枢都市圏連携, 岡山連携中枢都市圏連携の中において, 現在, どういった手法で観光客増加に取り組んでいくかを協議を行っていきます。近隣自治体と連携を図りながら, それぞれの特色を生かした観光振興を図っていきます。</p>
<p>【基本計画・だれもが集いitくなる総社】 県大の確たるビジョンがない。</p>	<p>岡山県立大学周辺の地域拠点としての整備や学園都市の形成を図るとともに, 市と県立大学との連携協力についてさらに充実を図ることとしています。また, 県立大学として, 地(知)の拠点大学として地方創生への支援を行うなど地域と密着した取組みについて協力を図りながら推進していきます。</p>
<p>【基本計画・だれもが集いitくなる総社】 P28「市民提案型事業補助金による市民活動団体等への支援」は「市民提案型事業による主体的な市民活動等への支援」の方が, 事業の趣旨である「主体的な市民活動支援」についての誤解を生みにくい。</p>	<p>ご意見を踏まえて, 「市民提案型事業による主体的な市民活動等への支援」に修正させていただきます。</p>